



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 27

平成24年 5月 1日

13名の入学生を迎えました



4月9日(月)、白石高校本校体育館で、平成24年度の入学式が行われました。七ヶ宿校には、男子5名女子8名の計13名が入学を許可されました。

浅野広樹(東中学校出身)

4月9日は入学式の日でした。入学式の前日はあまり眠れなくて、次の日の朝に起きた時には十一時くらいでした。遅れそうだったので、白高まで走って行きました。白高に着いてからは、とても緊張して大変でした。七ヶ宿校の教室まで行き中に入ってみると、先生と生徒みんながいました。その時は、とても緊張しました。

入学式が始まる時間になり、みんなと一緒に体育館へ行きました。思っていたよりも人が居たので、とても緊張しましたが、入学式はあっという間に終わりました。

そして、4月11日には対面式がありました。最初は怖そうな先輩方がいるのかと思って緊張していましたが、思ったより明るくて面白そうな先輩が居たので良かったです。そして、先生方も優しくそうで、面白そうだったので良かったです。

山家史織(白石中学校出身)

入学式の日、とても緊張したことを覚えています。とても静かな教室で、ちょっと寂しかったです。私の心の中には、不安という言葉がありました。友達と仲良くしたり、勉強は大丈夫だろうか、とても心配でした。そん

な私に、周りの友達に声を掛けてくれました。その時、不安が無くなり、笑顔になりました。とっても安心することが出来て、嬉しかったです。時間が過ぎて入学式の時間になりました。心の中は、嫌だとか恥ずかしい気持ちでした。白高の生徒の名前がすべて呼び終わり、七ヶ宿校に近付いていた時はとても緊張して大変でした。あまり大きな声で返事をすることはできませんでしたが、「はい。」と言った時、もう高校に入学したんだなあ実感しました。入学式が終わり退場する時も、人が沢山いてすごく緊張していました。教室に戻ると、やっと緊張が無くなり、ほっとしました。親とゆっくり話しながら帰り、「高校生なんだからしっかりしろよ。」と、父に言われました。その言葉を心にしまい高校生となりました。

次に先輩方との対面式です。相変わらず、私は緊張していました。入場して、先輩の優しい心に包まれながら入りました。先輩達は一人一人がとても面白く個性的で優しい人です。自己紹介は緊張しながら言いました。失敗することもなく発表することができたので良かったです。行事が終わり、ちゃんとした七ヶ宿校生になったので、勉強や部活を頑張っていきたいと思います。私は学級委員になりました。皆を引っばっていけるか、不安ですが、自分なりに頑張っていきたいと思います。

神尾啓太（七ヶ宿中学校出身）

僕は入学式当日になると、「いよいよ高校生になるんだ。」と思いながら、家で準備をしていました。準備も済ませて、入学式が行われる白石高等学校へと向かいました。僕は車の中で緊張していました。そして白石高等学校に着きました。受付が行われている玄関へと向かいました。玄関に行くと、そこは人で一杯で、「すごいなあ」と思いました。玄関の先で受付が行われていました。その後、指定さ

れた場所へ向かいました。ちょっとしたハプニングがありましたが、何とか指定された場所へ着きました。そして、いよいよ入学式が始まると、ぐっと緊張が走りましたが、返事もしつかりと言ひ、無事に入学式を終えることができました。僕は入学式が終わった後、「明日から高校での生活が始まるんだなあ」と思い、家に帰りました。家に帰った後、次の日の準備をしながら、期待と不安で一杯でした。

林 れな（福岡中学校出身）

春、まだつぼみだった私達が高校生活に入る入学式が、いよいよ始まる時間が迫ってきました。大勢の人達にたくさんの拍手を貰って入場しました。入学式が始まり、心がドキドキして、身体が動かなくなりました。自分の名前が呼ばれる時が迫ってきた時、そのドキドキが止まり、小さな声で「はい。」と返事をしました。何だか、とてもスッキリした気持ちでした。入学式が終わり、教室に行くと、私は疲れ切って、先生の話の話を聞きました。

対面式では、先輩方が私達の為に色々なビデオや自己紹介などを見せてくれました。ビデオには、今の2年生や3年生が入学した時の様子が映っていました。先輩方は優しそうだけど、見た目では決めてはいけなかったと思います。でも、先輩達と会えて良かったと思います。これから、先輩達と仲良くしていきたいと思いました。

編集後記（副校長）

やっと風が柔らかく温かく感じられるようになりました。春は別れと出会いの季節であり、生命が息吹く季節です。入学式と対面式を終えての、新入生の文章を読むと、『緊張』という言葉が何度も出て来ます。中学校から高校へと環境が変わり、新入生は『生まれ変わり』を体験しています。緊張は成長への最初の一步だと思います。